溝上慎一の教育論（動画チャンネル） No434
（概論）

統合的な理解・総合的な発揮における「概念水準」と個別の知識の量との関係

溝上　慎一　　Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

https://smizok.com/
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
＊詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。
※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

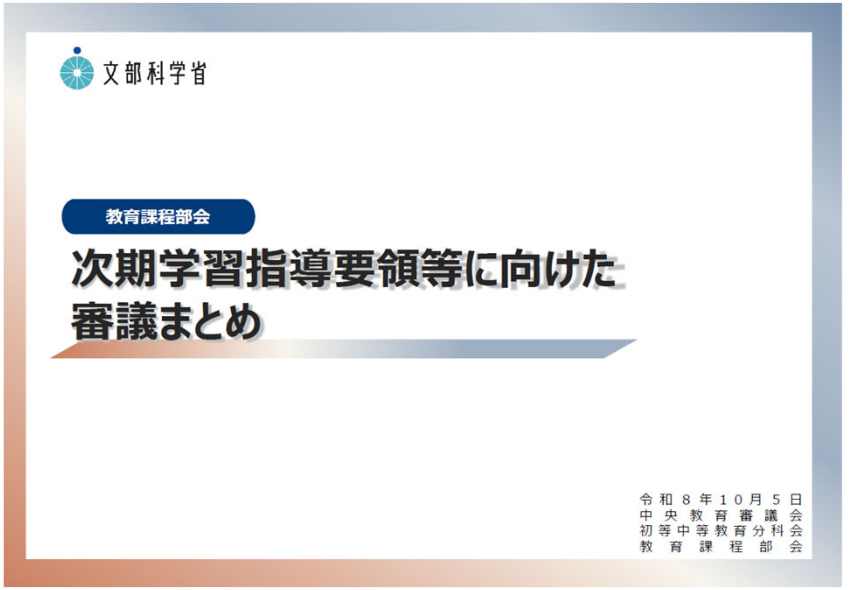
文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

会見・報道・お知らせ | 政策・審議会 |

トップ > 政策・審議会 > 審議会情報 > 中央教育審議会 > 初等中等教育分科会 > 教育課程部会　教育課程企画特別部会

次期学習指導要領等に向けた審議まとめ

- 次期学習指導要領等に向けた審議まとめ（1／4）※第1・2部（PDF:4.2MB）
- 次期学習指導要領等に向けた審議まとめ（2／4）※第3部（1）（PDF:9.8MB）
- 次期学習指導要領等に向けた審議まとめ（3／4）※第3部（2）（PDF:8.2MB）
- 次期学習指導要領等に向けた審議まとめ（4／4）※第3部（3）（PDF:7.5MB）



教育課程部会「審議まとめ」（2026年10月5日）

次期学習指導要領に向けた進行予定

2026年10月　教育課程部会『審議まとめ』（済）

2026年内　中央教育審議会『答申』

2027年4月1日　新学習指導要領「周知（告示）」（小中学校）

※高校は2028年4月1日

2028-2029年　新学習指導要領「先行実施」（小学校）

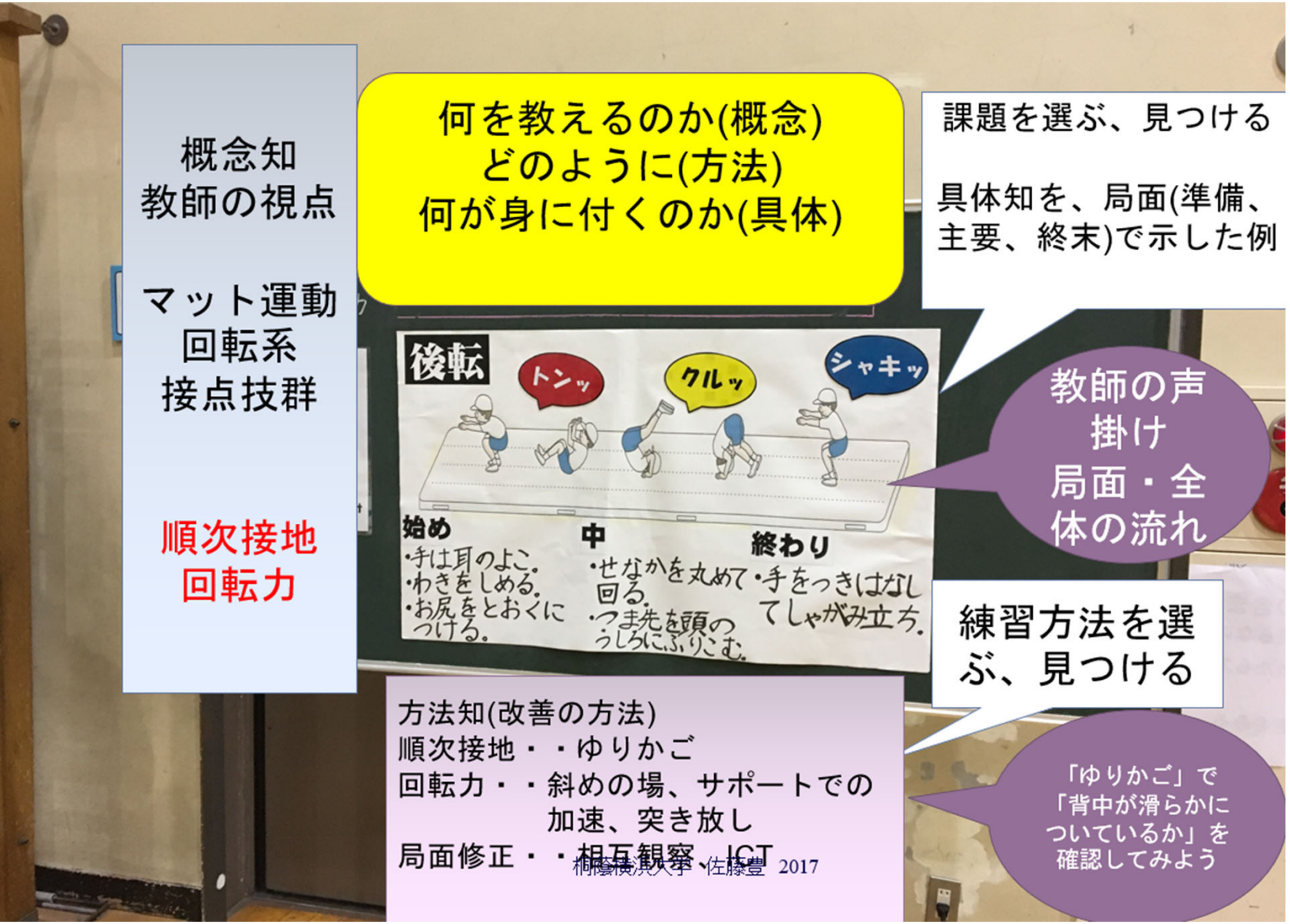
※中学校は2028-2030年、高校は2029-2031年

2030年～　新学習指導要領「全面実施」（小学校）

※中学校は2031年～、高校は2032年入学生から順次実施



No433（審議まとめへのコメント）次期改訂『審議まとめ』を体育の観点からコメント 佐藤豊先生（桐蔭横浜大学スポーツ科学部教授/体育ほかワーキンググループ委員）（2026年10月16日配信）



佐藤豊先生のYouTube資料（No433）

体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

（暫定版）
※今後さらに検討

領域		A 体つくり運動系、体つくり運動		B 器械運動系、器械運動	
小学校	高次の資質・能力	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		・心と体の関係に気付いたり仲間と関わり合ったりすることにより、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する	・心身の状態等に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ	・器具等を使い、回転したり、支持したり、逆位になったり、懸垂したりするなどの動きや技に挑戦し、各自の課題に応じた動きや技ができるようになることにより、楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	・器具等を使う運動について、自己の課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
	内容項目例	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		・体ほぐしの運動遊び・運動 ・多様な動きをつくる運動遊び・運動 ・体の動きを高める運動	・心と体の状態等に応じて運動の課題や行い方を選ぶこと ・誰もが気付きや関わり合いが深まる運動や、体の動きを高めるために適した運動の行い方を工夫したりすること	・固定施設を使った運動遊び ・マットを使った運動遊び・運動 ・鉄棒を使った運動遊び・運動 ・跳び箱を使った運動遊び・運動	・器具等を使う運動について、自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること
中学校	高次の資質・能力	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		・心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する	・心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを工夫する	・器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じた技ができるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	・器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を工夫する
	内容項目例	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・実生活に生かす運動の計画	・動きの組み合わせ方や仲間との関わり合いなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること	・マット運動の基本的な技 ・鉄棒運動の基本的な技 ・平均台運動の基本的な技 ・跳び箱運動の基本的な技	・器具等を使う運動について、技の行い方や技の組合わせ方などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
高等学校	高次の資質・能力	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		・心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と主体的に関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、生涯にわたる健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図ることができることを理解する	・心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを合理的、計画的に工夫する	・器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じて技が滑らかに安定してできるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	・器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を、合理的、計画的に工夫する
	内容項目例	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	・運動の行い方や運動の実生活への取り入れ方の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	・マット運動の基本的な技と発展技 ・鉄棒運動の基本的な技と発展技 ・平均台運動の基本的な技と発展技 ・跳び箱運動の基本的な技と発展技	・器具等を使う運動について、技や演技、仲間との関わり方など課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること

17

教育課程部会体育・保健体育・健康、安全WG（第９回）（令和8[2026]年4月24日）参考資料より

概念化のイメージ　＞単元「ものの名前」（小学1年国語）



　けんじさんは、（中略）おねえさんとさかなやさんにいきました。あじ、さば、たいなどがならんでいます。
　けんじさんが
「さかなをください」
といって、千円さつを出しました。おみせのおじさんは、
「さかなじゃわからないよ」
と、わらいながらいいました。

『こくご 一下』（光村図書）

挿絵は改変

統合的な理解 と 総合的な発揮

教育課程企画特別部会「資料」
（2026年9月25日）

知識及び技能に関する 統合的な理解

＼生きて働く／
知識及び技能
他の学習や生活の場面でも活用できる

知識及び技能に関する統合的な理解

個別の知識や技能が相互に関連付けられて一般化され、統合的な理解となった姿



(例)関数を使えば未知の状況を予測できる

思考力、判断力、表現力等の 総合的な発揮

＼未知の状況にも対応できる／
思考力、判断力、表現力等
知識・技能を活用しながら、未知の場面でも課題を解決できる

思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮

複雑な課題の解決に向けて、個別の思考力、判断力、表現力等を組み合わせたり選んだりして総合的に働かせた姿



(例)現実の事象を数式でモデル化し、未知の状況を予測して、具体的な解決策を選択する

個別の資質・能力の獲得や発揮の方向性を示す目標の性質

資質・能力の「一体的育成」の可視化

単元等における達成の目標の性質

資質・能力の「深まり」の可視化

個別の知識や技能

知識① 知識② 知識③ 知識④



(例)比例・反比例の理解 / 1次方程式の解き方 等

資質・能力の「深まり」の可視化

個別の思考力、判断力、表現力等



(例)二つの数量の変化・対応関係を見つけて式やグラフを用いて考察する 等

社会科（歴史）の統合・総合の例

「問い」明治政府はどのような国づくりを進めたのだろうか

- 統合的な理解・総合的な発揮

【小学校：社会６年】 江戸から明治になって**「何が変わったのか」**をつかむ

【中学校：歴史的分野】 明治政府は**「何を目指したか」**を理解する

→明治政府による国の**近代化**・**近代国家**の形成

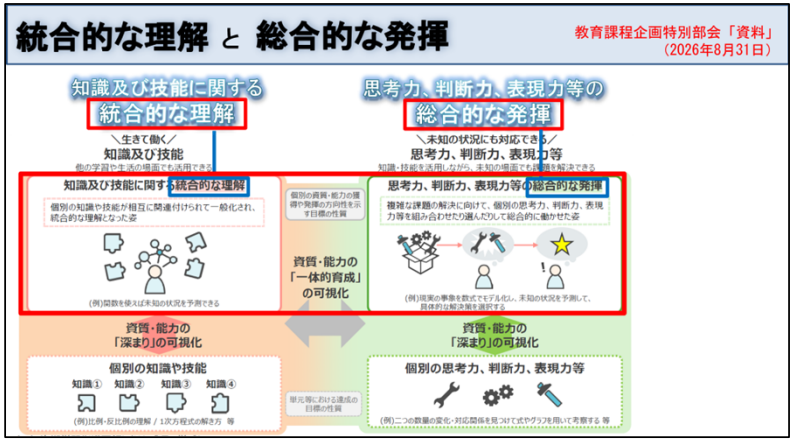
【高校：歴史総合】 世界史的な文脈で日本の**立憲体制**と**国民国家**の形成を理解

→高校では、ペリー来航から始めない。そもそもなぜペリーは日本に来たのか、から理解していく。ヨーロッパの産業革命、市民革命などと繋げる

- 事実的知識
  - 廃藩置県
  - 四民平等
  - 学制の発布
  - 近代化政策

    鉄道・郵便制度の整備

    西洋式の服装・生活様式の普及　など

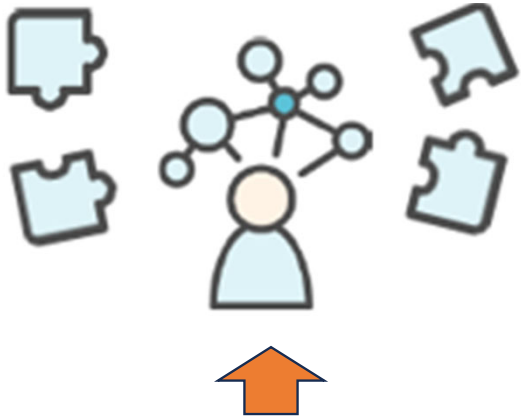


概念化のポイント

もう一段上の概念化

世界史的な文脈で日本の立憲体制と国民国家の形成を理解する

国の近代化・近代国家の形成



廃藩置県　四民平等　学制の発布　近代化政策

中学社会（歴史的分

＋



ヨーロッパの産業革命
市民革命など

高校社会（歴史総合）

個別の知識が増えることで概念水準は高くなるが、それは豊かな文脈で知識を理解することになる

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

・お名前、ご所属
※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてくださると、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。
・質問、コメント等

